東由利町報

No. 2 1 0　昭和49年（1974）5月1日

発行　秋田県東由利町役場　　印刷　ＫＫ本間印刷所

毎月1日発行（1部20円）昭和42年7月21日第3種郵便物認可

町の概況

人口総数	6,736
うち男	3,290
うち女	3,446
世帯数	1,524
面積	148.51㎢

スクールバス納車
当面新処から運行

法内地区の児童が待ちこがれていたスクールバスがこのほど町へ納車になりました。

四百六十万九千円もするだけあって、白とエンジのツートンカラー、自動ドアの通学バスは美しくデラックスです。

乗車定員は運転手のほか児童四十九人となっていますが、現在のところ通学上の安全を考慮して新処地内で折り返えして運行することにしています。

子どもたちはバス通学を喜んでおり、町では、桂台小倉地内まで早期に安全な運行ができるよう、主要地方道の改良促進を積極的に働きかけています。

農業委員選挙　3新人そろって当選

四月二十日、任期満了に伴なう町農業委員（定数十）の選挙が行なわれ、同日八時すぎ、新人三人を含む十人の新しい公選委員が決まりました。新農業委員の任期は本年五月一日から昭和五十二年四月三十日までの三年間です。

関心高く　投票率87％

当選	高橋典三	三七二票	新	45歳	久保
当選	遠藤孫助	三四七票	現	62歳	小倉
当選	小松哲夫	三四〇票	現	47歳	須郷田
当選、	佐々木弥一郎	三一七票	現	57歳	新町
当選	伊東庄一郎	二九三票	現	57歳	蔵新田
当選	小野与四雄	二九〇票	元	50歳	寺田
当選	小野藤紀之助	二八七票	新	43歳	下吹
当選	鈴木憲雄	二五五票	現	49歳	舟木
当選	渡辺隆蔵	二五二票	現	51歳	田代
当選	佐々木一郎	二四四票	新	47歳	大琴
次点	佐藤文敬	二一四票	現	51歳	黒淵

【得票順（端数切り捨て）敬称略】

今回の選挙は、四月十三日の告示日に十人、翌十四日に一人、計十一人が立候補して十のポストを争う少数激戦の中で行なわれただけあって選挙民の関心も高く、投票率も第六投票区（法内）の九二・三五％を最高に、平均八七・一三％を記録、いずれの投票区も八五％以上に達しました。

特に第六投票所では午前七時の投票開始から二時間ほどで五〇％台を超しました。

一方、午後七時からの開票では、五十人分を準備した開票参観人席がまたたく間に満席となり開票所にあふれるほどで、選挙民の関心の高さを物語っていました。

こうした現象は、農政が混迷を続けているだけに農業委員の活躍に大きな期待が寄せられていることを如実に示すものとうけとめられ、新委員には農業の方向づけという大きな使命が課されているとも言えそうです。

初委員会五月早々

町では、農業協同組合および農業共済組合推せん委員の通知を待って全委員を選任したあと、五月早々に初の委員会を招集し、会長および会長代理等を決定、新しい農業委員会を軌道に乗せることにしています。

議会選任の委員も決まる

四月二十三日開かれた第二回町議会臨時会は、任期満了による議会選任の農業委員に経験豊富な二人の現職に加え黒淵地区から委員中最年少の新人を起用し、計三人を選任しました。

佐藤好男	新	32歳	雫沢
小野作右エ門	現	54歳	蔵新田
小松鉄郎	現	45歳	下通

"かざっぱり" 佐々木氏急逝

故佐々木宇一郎氏

元本町議会議員として、また農業委員、農業協同組合理事など多くの役職にあって長年にわたり本町発展のため献身的に活躍して来られた佐々木宇一郎氏（享年67歳）は、かねて病気療養中でしたが、去る四月十一日、入院先で急逝されました。

氏は、議会議員在職通算二十年におよび、この間副議長の要職をつとめられたほか、農業調整委員、農業委員、本荘市東由利土地改良区理事並びに東由利農業協同組合理事など多くの要職にもあって本町の産業経済発展の基盤づくりに多大の貢献をなされました。

中でも長年の懸案であった農協合併を組合長の職にあって実現させたことなどは特筆に価いします。

多くの町民から「カザッパリ」の通称で慕われた、剛直果敢でかつまた質朴な気風の氏の急逝は多くの町民から悼まれています。

葬儀は同十四日多数の町民が参列してしめやかに行なわれました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

町体育指導員選任

町教育委員会では体育指導員および同補助員の任期が満了したため四月一日付で次のとおり新しく選任しました。

【体育指導員】 長谷山二郎（舟木）・佐々木正輝（大琴）・阿部清治（蔵新田）・長谷山博昭（上通）・遠藤熊雄（新処）・佐藤良子（田代）佐藤キミ（八日町）

【同補助員】 佐藤智治郎（八日町）・小松正武（高戸屋）・阿部重雄（蔵新田）・工藤実（新処）・梅津嘉人（大琴）

"豪雪後遺症"何のその
たくましく農民の本領発揮

かってない豪雪は農家に深刻な打撃を与えましたが出かせぎ帰郷者を迎えた町内の農家では、その後遺症にもめげずたくましく土に生きる農民の本領を発揮、消雪促進につとめる一方堆肥や客土の運搬で土づくりに励み、例年より約二週間遅れながら苗代作業も開始しました。

しかし、気象台がさき頃発表した長期予報では「今夏の天候も低温で不順気味…」と豪雪に追いうちをかけるかのような警告を発しています。

それだけに、自然を相手の農民にとってはかつてない厳しい試練の年になることも予測されています。

種まきが約二週間も遅れているため、苗が軟弱になりやすく霜害などもうけやすくなります。

保温苗代の温度管理や水管理を小まめに行なうなど、天気予報に注意しながら、当面する育苗には万全の対策を講じ健康な苗づくりにつとめてほしいものです。

水温上昇を図ろう

町では、苗の低温障害に対処するため苗代や稚苗移植本田にポリチューブなど水温上昇資材を積極的に活用するよう奨励し、その資材購入費に対しても助成を計画しています。

上　一メートルの残雪を割って苗代づくり　4月17日蔵新田で
下　共同育苗センターの種もみ消毒　同17日新処で

警察官異[illegible]

県警察官の定期異動により本町駐在の二警察官が次のとおり異動になりました。

【舘合駐在所】 進藤広太郎（由利町へ）　七尾侑一郎（森吉署から）

【大琴駐在所】 工藤重徳（大館市へ）　伊藤伸克（増田署から）

消防分署異動

和田東由利分署長

【転入】 ◎和田昭男（西目分署）田口健一（同）斎藤勝己（本署）

【転出】 ◎鈴木満（本部へ）日野薫（大内分署へ）阿部工（本署へ）　◎印分署長

49年度農作業　協定賃金決定

町農業委員会では、四月十一日、四十九年度の農作業賃金を次のとおり協定、全農家がこれを尊重するようのぞんでいます。

▼耕起作業　10アール当たり二千五百円。▼代かき作業　同二千円。▼田植　一日当たり（男女）二千二百円。▼稲刈り　10アール当たり（機械）三千五百円。▼一般農作業　一日当たり（男）二千円。（女）千八百円。▼テーラーでの運搬作業　一時間当たり五百円。▼脱穀　一束当たり二十円。▼もみすり　一俵当たり百五十円。

一般会計予算　六億四千万円の使途
自主的財源わずかに12％

昭和四十九年度町事業のあらましは、前号に掲載した町長の施政方針説明でご理解いただけたものと思いますが、今回は総需要抑制という厳しい条件の中にもかかわらず民生安定を柱に、キメ細かな配慮のもとで前年比三十四％増となった一般会計予算六億三千九百八十四万四千円の使途の概要に目を向けてみることにします。

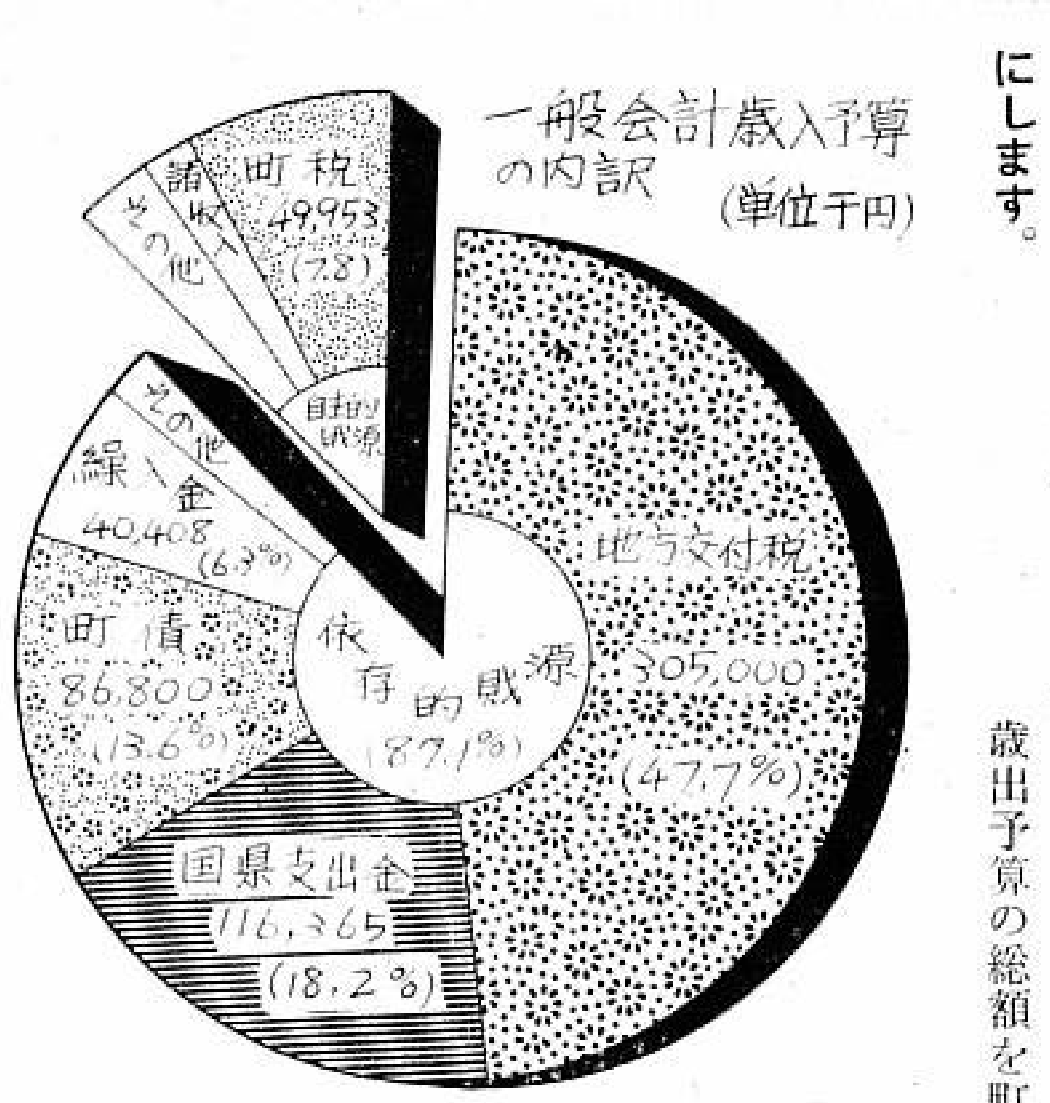
まず歳入ですが、町税や手数料など自主的財源は八千二百五十三万九千円（12・9％）で、残りは依存的財源となっています。

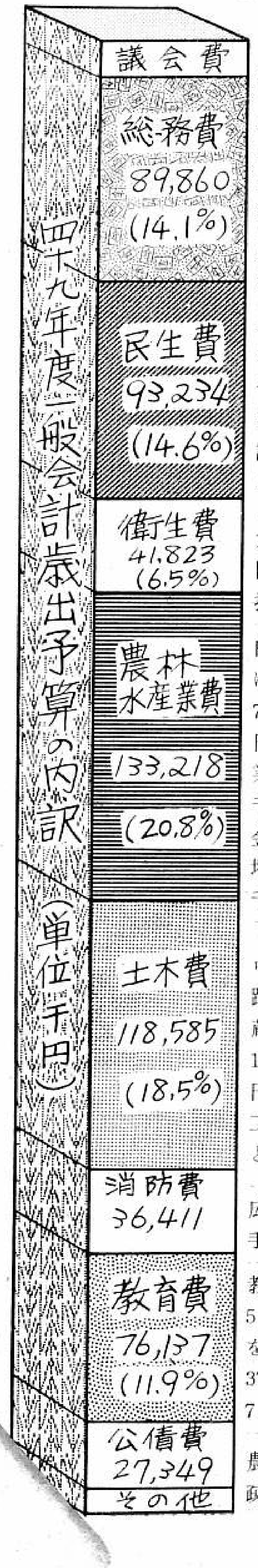
歳出面では総需要抑制という厳しいカセの中でも最大限の施策を行なえるよう、キメ細かに措置されております。

歳出予算の総額を町民一人あたりに換算してみると九万三千三百五十三円となり町税の一人当たり負担額七千二百八十八円の実に十三倍近くになっています。

これは前年比三十四・三％の二万三千九百五十三円の増であり、執行に当たっては一円のムダもないよう慎重に取り組んで、町民生活向上に役立てることにしています。

各費目ごとの主要事業はおよそ次表のとおりです。



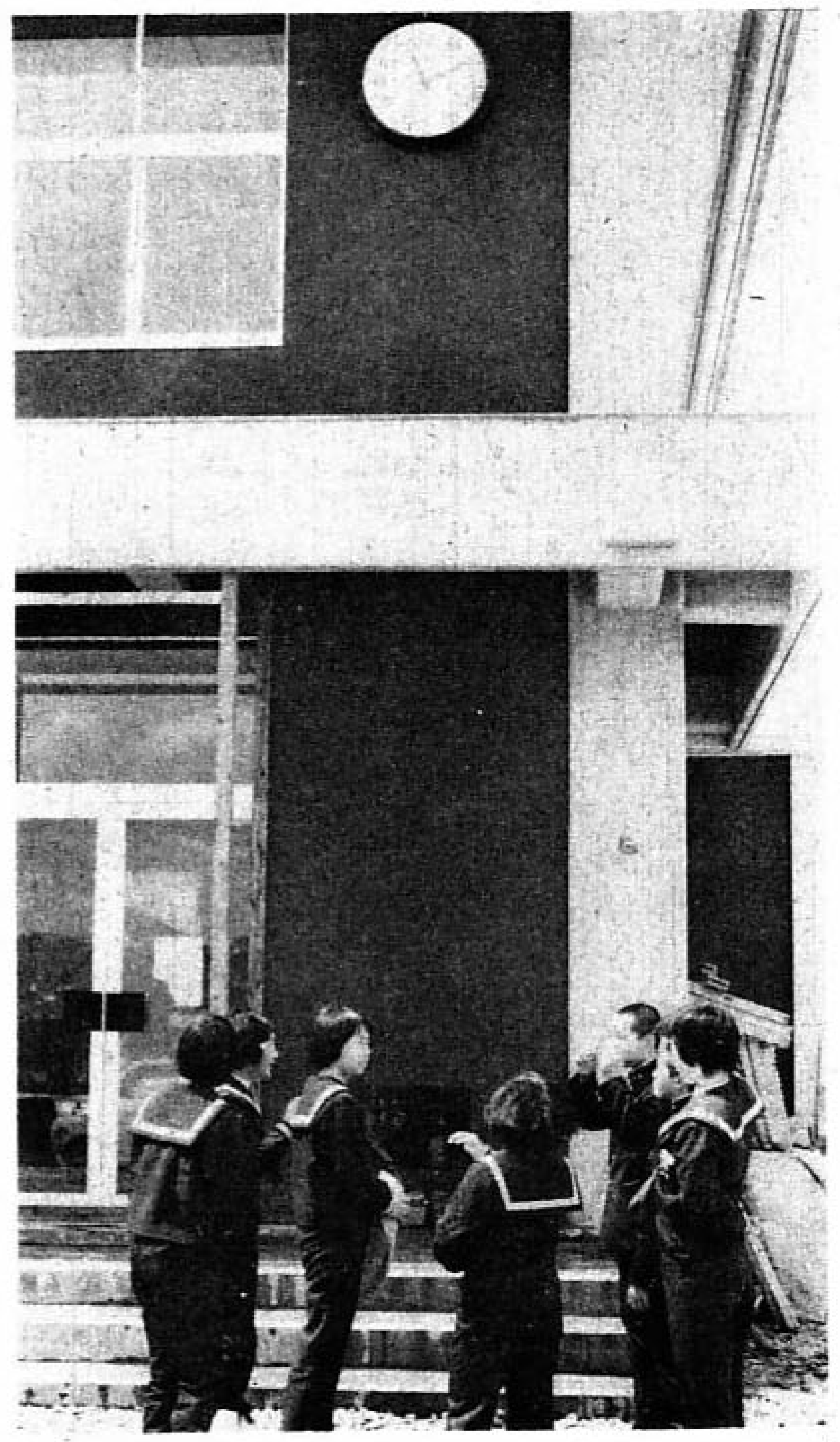


議会費	総額13,992千円。議員報酬等がその主なもの
総務費 89,860 (14.1%)	職員の給料手当「各種消耗品負担金管理費48,383千円。広報1,114千円。基金積立等財政管理費6,977千円。財産管理費3,894千円。徴税関係費15,078千円。戸籍住民台帳費340万円。参議院議員等選挙費2,124千円。統計調査費2,773千円など。
民生費 93,234 (14.6%)	老人いこいの家建築費48,059千円。老人家庭奉仕等委託料1,591千円など老人福祉費6,603千円。老人医料給付費14,649千円。児童福祉費として児童手当関係7,306千円。保育所委託料4,186千円。国民年金関係費4,478千円など。
衛生費 41,823 (6.5%)	大琴診療所新築費19,647千円を含む保健衛生関係費33,125千円。塵芥処理委託料や広域負担金などの清掃費8,698千円など。
農林水産業費 133,218 (20.8%)	肉用牛生産団地育成に8,698千円、牧道整備に200万円等の補助金を含む畜産業費に52,790千円。小規模土地改良事業補助金9,348千円のほか葉たばこ、養蚕、等補助金などの農業振興費13,869千円。団体営土地改良に4,336千円。県営同に3,603千円。優良保育事業補助金8,985千円を含む林業振興費11,906千円。坪倉線など林道費10,164千円。造林費10,943千円。いこいの森造成に500万円など。
土木費 118,585 (18.5%)	ロータリー除雪車購入費10,050千円を含む道路橋梁費30,114千円。道路維持費11,379千円蔵上里線790万円、新沢線1,675万円、下吹線1,400万円、台山線563万円、根小屋線255万円、蔵新田線120万円。下小屋橋外4橋の改良工事費21,253千円。橋梁維持費1,649千円など。
消防費 36,411	広域常備消防負担金22,925千円。団員の報酬手当等を含む非常備消防費8,128千円など。
教育費 76,137 (11.9%)	教育総務費11,949千円。スクールバス関係費5,635千円。教材器具等備品購入費3,366千円を含む教育振興費4,766千円など小学校費36,372千円。中学校費19,181千円。社会教育費7,376千円。保健体育費1,259千円など。
公債費 27,349	農林水産業債、土木債、教育債、辺地債、過疎債、振興資金の償還金および利子等。
その他	

"時間観念"育てよう

学校に大時計贈る

＝東中生徒会＝


先輩たちの勤労の結晶ともいえる大時計の下で「自分たちも何かを…」と語り合う一年生たち

時は流れる。時は流れる。
勉強していても、遊んでいても、働いていても…。
一秒 一分 一時間…。
一日 二日 三日…。
きのうの一日はも早あり得ない。
休みなく流れる時間の川に救いようのない悔いを流さないよう。
今の今に、最善を尽そう。

私たちは、どんなにあがいても時間の流れを止めることができません。

それだけに、日常生活の一刻一刻をできるだけ大切に過ごし、将来に悔いを残さないための時間に対する観念を育て、身につけることが必要です。

東由利中学校生徒会（遠藤農夫也会長）では、自分たちの年代から、時間を守り大切にする習慣をしっかり身につけようと、このほど学校に大きな電気時計を贈りました。

この時計は同生徒会が、郷土の良さを理解し、自然に親しもうとして昨春行なったわらび採りの収益金、四万円余をもとに購入したもので、直径七十七㌢もある円形の大きなものです。

自分たちに任せられていたわらびの販売代金の使途については、当時の会長であった小野清夫君から梅津伸悦君、そして現会長遠藤君まで三代にわたって引き継がれ、十数回もの研究討議が重ねられてようやく"時計購入"の結論が出されただけに、生徒たちの間には「時間の観念を育てよう」とする強い機運がわき上っています。

先生たちも生徒たちの発案を大歓迎、さっそく管理棟正面玄関に取りつけ、側面から応援、学校挙げて時間を守る運動を展開しています。

正面玄関に設置された大時計は、その工事費も、生徒たちが行なった奉仕作業（植樹）の謝礼金を充当してあり、文字通り汗の結晶ともいえます。

生徒会の指導にあたっている成田晴三先生は「生徒たちの発案であるだけに、生徒会活動の中でも積極的に取り組み、最近では遅刻する生徒が見られなくなりました…」と語り、時計設置の効用と生徒の自主性を大きく評価しています。

"東由利時間"払拭を

私たち町民には、ややもすれば時間観念にルーズな面があり、町民各層に反省を求める強い声も上っています。

この際、私たち大人が、東中生徒に恥じることがないよう率先して時間を守る習慣を身につけ「三十分遅れ、一時間遅れ」の汚名がある"東由利時間"払拭に立ち上がりたいものです。

犯罪予防みなんで

＝東由利駐在所だより＝

春の行楽期、農繁期には例年各種の犯罪や事故が多発するため、本荘警察署では四月二十一日から五月十日まで、重点的な春の総合防犯運動を展開しており、特に次の点に注意をのぞんでいます。

盗犯予防は心がけが大切

①戸締りにはよいカギを二段構えで。②防犯灯、門灯を活用。③隣り近所で声をかけ合い相互防犯を。④万一のため貴重品は記録し、被害にあったら現場をそのままにしてすぐ通報しましょう。

暴力迷惑行為すぐ通報

①小さな暴力。②いやがらせ。③迷惑行為など見たり聞いたりしたらすぐ通報を。

少年の非行防止に愛の声を

①解放感から思いがけない非行（飲酒・喫煙・不良交遊など）が生まれます。住民みんなの愛の声で未然に防止するようにしましょう。

交通事故防止も

花見にうかれ飲酒運転をすることのないようみんなで注意しあいましょう。

"人間愛"この機会に

5月9日 献血車来町

五月九日（木）に献血車あかつき号が本町を訪れます。

昨年度の本町の実績は、目標百七十本に対し二百十二本（一二四・七％）の尊い献血協力があり、郡市内では西目村に次ぐよい成績をおさめています。

本年度の本町の目標は百二十本で前年度より少なくなっていますが、これは由利組合病院に県血液センターの出張所ができ本荘市由利郡民から随時献血を受けつけることができるようになったためです。

交通事故や突然の事故で瀕死の重傷を負った被害者、重病に苦しむ人々が、人間愛に燃える多くの人たちの暖い献血のおかげで一命をとりとめた例は枚挙にいとまがないほど多くあります。

健康なときにだけできる献血は、本人はもとより、家族や親類・知人の生命にかかわる"ここ一番"というときに必ず役立ってもくれます。

献血にあたっては、事前に医師の診察を行ない健康体の人からのみ協力してもらうことになっており、心配はまったく不要です。

この機会に、町民の暖かい思いやり、人間愛を示すことができるよう町民こぞって献血に協力しましょう。

特に若い人たちやこれまで経験のない、いわゆる新規の献血者の協力が強くのぞまれています。

大工賃金 四千五百円に

町建設技能組合（小松竜一組合長）は、四月五日、新町会館で四十九年度総会を開催し、大工賃金を同日から四千五百円とすることを決めました。

新しい大工賃金は、実働八時間を標準としており、交通事故防止などの意味からも、酒食の接待はできるだけうけないことにしました。

発見したらすぐ119番を

小倉火災 通報遅れが大事に

四月十日未明、小倉、遠藤時次さん（73歳）方から出火し、住家一七七・八平方㍍、非住家六一・四平方㍍を全焼したほか、肉用牛一頭が焼死するという惨事が発生しました。（原因調査中）

本町では、正月以来すでに五度目の火災であり、最も火災の発生しやすい季節を迎えているだけに、防火に対する町民の一層の注意がのぞまれています。

特に今回の火災で悔やまれている点は、出火直後に家族の一人が発見していながら、就寝中の家族の避難や消火に夢中になり消防分署「一一九番」への通報を忘れたことです。

分署への第一報が入ったのは出火から約四十分後で、しかも、一キロ離れた十二ノ前から「火災らしいか調べてほしい…」という内容であったと言われています。

火勢が強まり、電話線が焼け落ちてからは同部落すべての電話が不通になったと言われるだけに、発見当初の数分～十数分間に通報できないでしまったことが、大きく悔やまれています。

跡かたもなく焼け落ちた火災現場（4月10日）

火災の未然予防はもちろんですが、万一発生したり発見した場合の通報体制の強化が改めて痛感させられます。

東由利分署では、発見したらためらわず「一一九番！」または「火事！」の通報をまっ先にしてほしいとのぞんでおり、通報にあたっては、①部落名、②世帯主の氏名の二つを正確に伝えてほしいとしています。

なお、屋号等は、判断を誤らせることがあるので、できるだけ避けるようのぞまれています。

中継用水槽五コ町へ

[illegible]戸坂）から、過日の火災における町民各位のご協力に対する感謝の気持の一端として、このほど、折りたたみ式中継用消火水槽五個（九万円相当）が町へ寄贈されました。町では篤志に感謝しながらさっそく各分団へ配置しました。

ご芳志ありがとう

社協へ二千円

北海道の木島幸次郎さん（本町蔵新田出身）から、寝たきり老人や身障者のために何かを……として、町社会福祉協議会に二千円が寄せられました。木島さんからはさきにも二万円を頂戴いたしてありご芳志に添うよう使わしていただいております。

蔵小へ雑布一〇〇枚

蔵の阿部ノブエさんから蔵小に雑布一〇〇枚が寄せられ児童たちから喜ばれています ありがとうございました。

全町球技大会6月30日

町民体育大会9月1日

49年主要体育行事日程決まる

四月十日、町体育指導委員会（長谷山二郎委員長）の本年度第一回委員会が開催され昭和四十九年度の保健体育関係主要年間行事が次のとおり決められました。

移動スポーツ教室

【内容】高令者向きの軽スポーツ"ゲートボール"の競技方法など、七地区で開催。

▽5月7日 田代福祉館、玉米小学校。▽同8日 新町会館、蔵新田会館。▽同9日 法内分館、大琴会館。▽同10日 袖山小学校。

レクリエーション指導者養成教室

【内容】フォークダンス・ゲーム・歌・音楽・レク等。六回にわたって開催。

▽6月20日。▽7月3日。▽同10日。▽同23日。▽同31日▽8月7日。（いずれも役場参加申込みは6月10日まで町公民館へ）

野外活動指導者養成講習会

【内容】キャンプの運営等。

▽7月13日～14日。

全町球技大会

▽6月30日（台山グラウンド）

体力づくり講演会

▽8月22日（役場）

町民体育大会

▽9月1日（台山）

体力テストの実施

▽9月9日 法内分館、蔵小▽同10日 老方小、宿小。▽同11日 住吉小、玉米小。▽同15日 袖山小。

体力づくりのつどい

【内容】各地区ごとにコースを設定して実施する歩く会。

▽9月15日

民謡踊りの教室

▽10月29日。▽11月7日。▽同15日。▽同22日。▽12月3日。▽同11日。（いずれも役場、参加申込みは10月21日まで町公民館へ）

山火事の防止を

火災の発生しやすい天気が続きます。山菜採り等で入山の際のたばこには十分注意し、森林資源を火災から守りましょう

町公民館長に 梅津さん就任

公民館長に就任した梅津嘉一郎さん

町教育委員会は、長らく空席が続いていた専任の町公民館長に四月二日付で梅津嘉一郎さん（大琴48歳）を発令しました。

梅津さんは大正十四年現在地に生まれ、昭和十六年県立天王修錬農場を卒業後、兵役期間を除いて専ら家業の農業に従事、この間、昭和三十九年から四十三年まで町消防団分団長、昭和四十三年から現在まで東由利農協監事の要職にあって活躍しています。

読書が趣味で、町民の信望も厚く、温厚な人柄からは想像もできないほど強い信念の持ち主でもあります。

専任館長の発令をうけた梅津さんは「身に余る大任ですが全町民のお力添えをいただきでき得る限り頑張りたい…」と抱負を語っています。

社会教育施設の建設などを始め今後の公民館活動の中枢となるだけに、その手腕に全町民から大きな期待が寄せられています。

"野ウサギ被害激増"

四月異例の駆除実施

空前の豪雪に見舞われた町内各地で、果樹や人工林への野ウサギ被害が目立ち、町森林組合や林家の強い要望をうけた町猟友会（大庭昇之助会長）では、四月としては異例の野兎駆除を実施、大きな成果をあげました。

例年になく野ウサギの食害が目立ったのは、豪雪が、野ウサギの常食している低灌木をすっかり雪の下にしてしまったためと見られています。

四月七日、板戸から松沢方面の駆除を実施するというので同行してみました。

国道から山へ入ること約三十分、残雪は未だ二～三㍍もあってわずかにあいた木の根に春を感じられるほか、風も冷たく、山は冬そのものでした。

被害がひどいと言われるだけあって、直径十㌢以上もある朴の木や桜、堅いブナまでが、残雪の上からさらに一～二㍍部分の樹皮をすっかり食害され、枯死する運命にあるのが多数見られます。

やがて樹令十五年生ぐらいのスギ林で駆除が開始されました。

銃を肩にした七、八人の会員がスギ林をグルリと囲み、勢子役の数名の会員が一方から「ホイ！ホイ！」と追い始めると、一匹、また一匹と林の中を走り出す野ウサギが見えます。

やがて、見通しの悪いスギ林を抜け出た野ウサギに待ちかまえた会員たちの銃が一斉になり出します。

無惨に食害をうけた果樹（坪倉休猟区で）

しかし、さすがは土地カンのある野ウサギだけに、銃の届かないところ、みえないところを選んで逃げ去るのが多く、パンパンとなる銃声の割には捕獲の数があがりません。

それでも、午後四時すぎまでに五、六カ所で作戦を展開し、戦果は二十五匹とまあまあでした。

スギの芯である若芽は野ウサギの恰好の食糧でもあるらしく、残雪の上に出ている五～六〇㌢の部分は、ほとんどと言ってもよいぐらい食害をうけ、中には丸坊主のものもあって、豪雪害と野ウサギ被害のダブルパンチをうけた農林家の困惑が如実に感じさせられました。

町内の猟友会員がこれまで捕獲した野ウサギの数は一千頭近くにのぼるものと見られていますが、造林地や樹園地の野ウサギ被害は来年も出るものと見られ、その対策が今後の大きな研究課題ともいえそうです。

慶弔だより

3月26日～4月25日

○出生 おめでとう

畑山新悟	土場沢	藤悟長男
工藤順一	高村	秀雄 長男
工藤奨子	新田	保春 二女
小野礼子	時雨山	与一長女

○結婚 おしあわせに

阿部隆一（蔵新田）
阿部千恵子（本荘市）

○死亡お悔み申し上げます

伊東スエノ	蔵	76歳
佐藤マサ	下通	81歳
斎藤キクノ	石高	78歳
佐々木宇一郎	大琴	67歳
阿部ノエ	十二前	80歳
渡辺ミエ	菲沢	83歳